

2 0 0 0 2

「1. 2年平均」を選択した場合は、前期の決算期間(12ヶ月を記入)です。
 「2. 3年平均」を選択した場合は、審査対象決算期間の前々期から前期までの決算期間(24ヶ月)を記入してください。
 この書式が複数枚にわたる場合は、最初の書式のみに記入してください。

工事種類別完成工事高
 工事種類別元請完成工事高

3年平均を選択しているので、24か月。始期が29年6月終期が01年5月となります。

項番	3 1	審査対象事業年度の前審査対象事業年度又は前々審査対象事業年度	自 29年06月 至 01年05月	審査対象事業年度	01年06月 至 02年05月	計算基準の区分	2 (1. 2年平均) 2. 3年平均
		審査対象事業年度の前審査対象事業年度	29年6月～30年5月				
		審査対象事業年度の前々審査対象事業年度	30年6月～1年5月				
		完成工事高計算表	465,000	元請完成工事高計算表	465,000	完成工事高(千円)	元請完成工事高(千円)
工事の種類	土木一式 工事	審査対象事業年度の前審査対象事業年度	745,000	審査対象事業年度の前々審査対象事業年度	745,000	3 9 8 0 0 0	3 9 8 0 0 0
		対象事業年度	0	対象事業年度	0		
		審査対象事業年度の前々審査対象事業年度	0	審査対象事業年度の前々審査対象事業年度	0		
工事の種類	プレストレストコンクリート 工事	対象事業年度	0	対象事業年度	0		
		審査対象事業年度の前々審査対象事業年度	0	審査対象事業年度の前々審査対象事業年度	0		
工事の種類	建築一式 工事	対象事業年度	108,000	対象事業年度	108,000	2 2 0 0 0	2 2 0 0 0
		審査対象事業年度の前々審査対象事業年度	40,000	審査対象事業年度の前々審査対象事業年度	40,000		
		対象事業年度	0	対象事業年度	0		
		審査対象事業年度の前々審査対象事業年度	0	審査対象事業年度の前々審査対象事業年度	0		
工事の種類	とび・土工・コンクリート 工事	対象事業年度	13,500	対象事業年度	11,500	5 1 3 0 0	9 0 0 0
		審査対象事業年度の前々審査対象事業年度	25,000	審査対象事業年度の前々審査対象事業年度	22,000		
		対象事業年度	0	対象事業年度	0		
		審査対象事業年度の前々審査対象事業年度	0	審査対象事業年度の前々審査対象事業年度	0		
工事の種類	その他 工事	対象事業年度		対象事業年度			
		審査対象事業年度の前々審査対象事業年度		審査対象事業年度の前々審査対象事業年度			
		対象事業年度		対象事業年度			
		審査対象事業年度の前々審査対象事業年度		審査対象事業年度の前々審査対象事業年度			
合計		対象事業年度		対象事業年度			
		審査対象事業年度の前々審査対象事業年度		審査対象事業年度の前々審査対象事業年度			
		対象事業年度		対象事業年度			
		審査対象事業年度の前々審査対象事業年度		審査対象事業年度の前々審査対象事業年度			

審査対象となる決算期間を記入してください。

「1. 2年平均」を選択した場合は、前期の完工高を記入してください。
 「2. 3年平均」を選択した場合は、前期と前々期の平均を記入(千円未満切捨)してください。
 決算期変更等により、月割計算が必要となった場合には、計算式を記入してください。

左欄「完成工事高」のうち元請完成工事高について記入してください。

「土木一式(010)」の審査を受ける場合は、必ず内数として「PC(011)」を記入してください。
 「とび・土工・コンクリート(050)」の場合の「法面処理(051)」、「鋼構造物(110)」の場合の「鋼橋上部(111)」も同様です。
 完工高が「0」の場合でも、省略せずに必ず記載してください。業種及びコード記入の順序は問いません。

「0」の場合でも必ず記入してください。

合算した場合には、内訳を記入してください。

工事経歴書の合計欄に記入した「完成工事高の合計額」及び「うち元請工事の合計額」と一致しているか、よく確認してください。

この書式が複数枚にわたる場合、項番33「その他工事」及び項番34「合計」は最後のページのみに記入してください。

＜業種コード＞		
010 土木一式	140 しゅんせつ	270 消防施設
020 建築一式	150 板金	280 清掃施設
030 大工	160 ガラス	290 解体
040 左官	170 塗装	
050 とび・土工・コンクリート	180 防水	
060 石	190 内装仕上	
070 屋根	200 機械器具設置	011 PC
080 電気	210 熱絶縁	051 法面処理
090 管	220 電気通信	111 鋼橋上部
100 タイル・れんが・ブロック	230 造園	
110 鋼構造物	240 さく井	
120 鉄筋	250 建具	
130 舗装	260 水道施設	

工事種類別
工事種類別

審査対象事業年度の前審査対象事業年度又は
前審査対象事業年度及び前々審査対象事業年度

項番 3 1

自 2 9 年 0 6 月 至 3 0 年 0 5 月 (1,2年平均) 2 3年平均

業種コード	完成工事高(千円)	元請完成工事高(千円)	完成工事高(千円)	元請完成工事高(千円)
3 2 0 5 1	2 4 5 0		1 5 0 0	
工事の種類	完成工事高計算表	元請完成工事高計算表		
法面処理 工事	1,280	0		
	3,620	0		

「PC」、「法面処理」、「鋼橋上部」、は、それぞれの工事のうち数となるため完工高の合計には算入されません。

業種コード	完成工事高(千円)	元請完成工事高(千円)	完成工事高(千円)	元請完成工事高(千円)
3 2 2 9 0	2 0 0 0		2 0 0 0	
工事の種類	完成工事高計算表	元請完成工事高計算表		
解体 工事	2,000	0		
	2,000	0		

「0」でも必ず記入してください。

業種コード	完成工事高(千円)	元請完成工事高(千円)	完成工事高(千円)	元請完成工事高(千円)
3 2				
工事の種類	完成工事高計算表	元請完成工事高計算表		
工事				

「その他」の工事には、許可を持っているが経審を受審しておらず、かつ合算も出来ない業種、又は許可を持っていない(許可不要の場合に限る)が、完工高がある業種の完工高を記入してください。
今回の記載例では、許可を持っているが経審をうけていない「石工事」や許可をもっていない「電気工事」の完工高がある場合にその他の工事に完工高を記入することになります。
「その他」の項目のみ、実績が「0」の場合は記載しないでください。(空欄のまま)

業種コード	完成工事高(千円)	元請完成工事高(千円)	完成工事高(千円)	元請完成工事高(千円)
3 3			6 0 0	
工事の種類	完成工事高計算表	元請完成工事高計算表		
その他 工事				

業務委託(パトロール・庭園管理・道路管理等)に係るもの、例えば、保守点検、除草、伐採、流木除去、倒木除去、測量調査、清掃等は建設工事ではないので、完工工事高に含めることはできません。工事経歴書をよく確認してください。

業種コード	完成工事高(千円)	元請完成工事高(千円)	完成工事高(千円)	元請完成工事高(千円)
3 4	6 8 5 2 5 0	6 8 5 2 5 0	4 7 3 9 0 0	4 2 9 0 0 0
合計				

契約後VEに係る完成工事高の評価の特例 (1. 有 (2) 無)